KONICA MINOLTA

適用機種：販売モデルは地域により異なります。

カラー機（CL）	C14010シリーズ、C5080シリーズ、C8100シリーズ
モノクロ機（BW）	---

オペレーションクイックガイド - No. 03B -

印刷ワークフロー
Fieryコントローラー

Ver. 01.02

目次

1 概要

2 プリンタードライバー

3 Fiery Command WorkStation

4 Fiery Hot Folders

5 付録



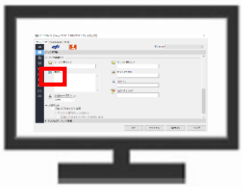
1 概要

➢ 本機にプリントデータを送信して印刷する方法はさまざまですが、ここではプリンタードライバーをはじめ、主な3つの印刷フローを紹介します。

主な印刷フロー

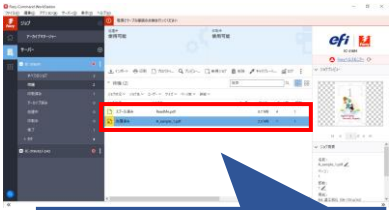
2

プリンタードライバーを使用して、簡単に印刷できます。

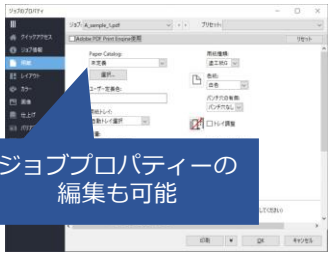


3

［ジョブ情報］タブでジョブを一時保存しておくと、**Fiery Command WorkStation（CWS）**でいつでも編集/印刷ができます。



待機保存したジョブを表示

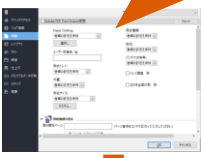


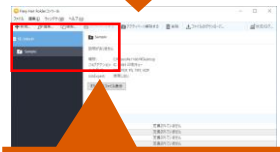
ジョブプロパティーの編集も可能

4

アプリケーションを開かずに**Fiery Hot Folders**上で、希望の印刷条件を登録したホットフォルダーを作成できます。

印刷条件設定





設定条件がプリンターごとに保存される（＝ホットフォルダー作成）



ホットフォルダーにドラッグ&ドロップで印刷可能

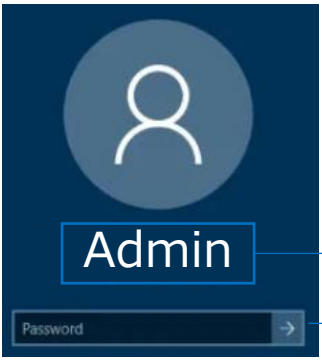
➢ この冊では上記 2 3 4 の具体的なフローおよび各ツールの概要について説明します。

1 概要

Fieryコントローラー本体へのログイン

モニタやマウス、キーボードをコントローラに接続している場合、通常のPCと同様の操作が可能です。

Windows へのログイン方法



ログイン名：管理者権限の場合は「Admin」です。

注意：

Windowsにログインする際のパスワードと、CWSにシステム管理者としてログインする際のパスワードは、基本的に同じものが設定されています。

詳しくは、サービス管理店にお問い合わせください。

Fieryコントローラーの設定管理

Fieryコントローラーの設定管理ツールは、次の2種類があります。

Configure

ジョブ送信、ネットワーク、セキュリティ、ユーザーアカウントなど、各種の設定を編集できます。

デバイスセンター

サーバー設定を表示したり、カラー、リソース、ワークフロー、ログ、サーバーのアップデートなど、様々な設定を編集できます。

03B-010 デバイスセンターとConfigure のアクセス方法

2 プリンタードライバー

2-1. Fiery プリンタードライバー

PCからFieryコントローラーに接続して印刷するために必要なソフトウェアです。
本章で使用する動画はQRコードまたはリンクからご参照ください。

2-2. Fiery プリンタードライバーによる印刷の流れ

アプリを開く

① 「印刷」メニューを選択

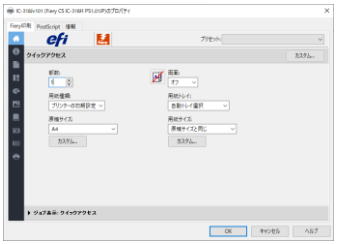
アプリケーションを開き、「印刷」メニューを選択する。

② Fieryプリンタードライバーを選択



③ ジョブに応じて、印刷設定を実施

「用紙」、「レイアウト」、「仕上げ」などから設定する。

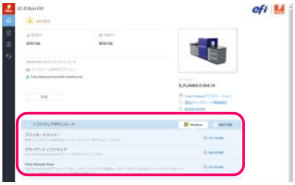


④ OKをクリックする

印刷する

2-3. プリンタードライバーのインストール

1. ご使用中のPC（WinまたはMac）上でブラウザを立ち上げ、FieryコントローラーのIPアドレスを入力します。



2. 「ソフトウェアダウンロード」より**プリンタードライバー**を選択してPCにダウンロードします。

注意：
Windows版とMac版の2種類があります。ご使用中のOSに合わせて選択してください。

3. プリンタードライバーをインストールします。詳細な手順は下記リンクまたはQRコードからご参照ください。

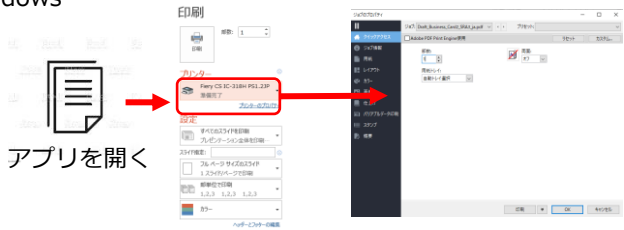
03B-020 Fieryプリンタードライバーのインストール

2 プリンタードライバー

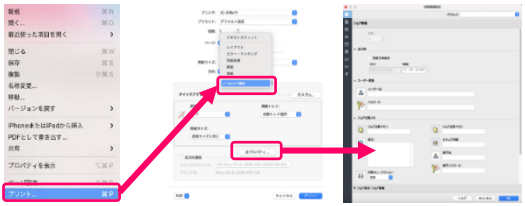
2-4. 印刷設定のアクセス手順

ジョブに応じて、必要な印刷設定を行います。
設定画面（プロパティ）のアクセスと詳細な説明はリンクの動画またはQRコードからご確認ください。

Windows



Mac



03B-030 Fieryプリンタードライバーの印刷設定

2-5. 印刷の種類

印刷設定より、様々な印刷ができます。

03B-040 印刷の種類



3 Fiery Command WorkStation

3-1. Fiery Command WorkStation（CWS）とは

プリントシステム全般の管理を行うアプリケーションです。PCからブラウザー経由で簡単に本機の状態を確認したり、ジョブを管理したりすることができます。

1. Fiery Command WorkStationをインストールする

WebToolsからソフトウェアをダウンロードした後にインストールします。

03B-050 Command WorkStationのインストール方法

2. ログイン



［ログイン］をクリックするとCWSが起動します。

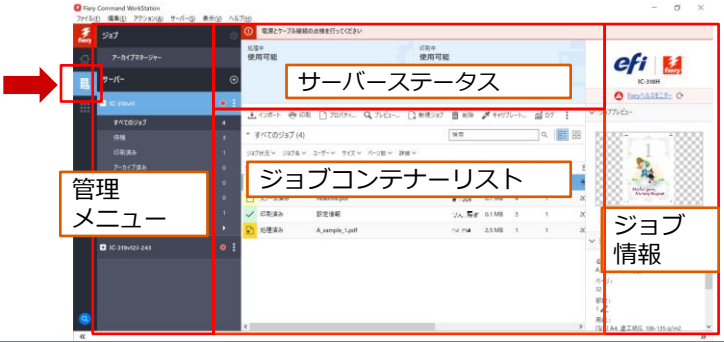
ユーザー：管理者権限の場合は「システム管理者」

注意：
Windowsにログインする際のパスワードと、CWSにシステム管理者としてログインする際のパスワードは、基本的に同じものが設定されています。
詳しくは、サービス管理店にお問い合わせください。

3. Fiery Command WorkStation 画面

ジョブセンター

接続済みのFieryコントローラーに送信されるジョブの表示と管理を一元的に行うことのできる場所です。



画面操作

管理メニューの折り畳み、ジョブのインポート、ジョブリストの絞り込み、ホーム画面などの操作を通じて、画面操作全般について学習していきます。詳しくは動画をご覧ください。

03B-060 Fiery Command WorkStationの基本操作

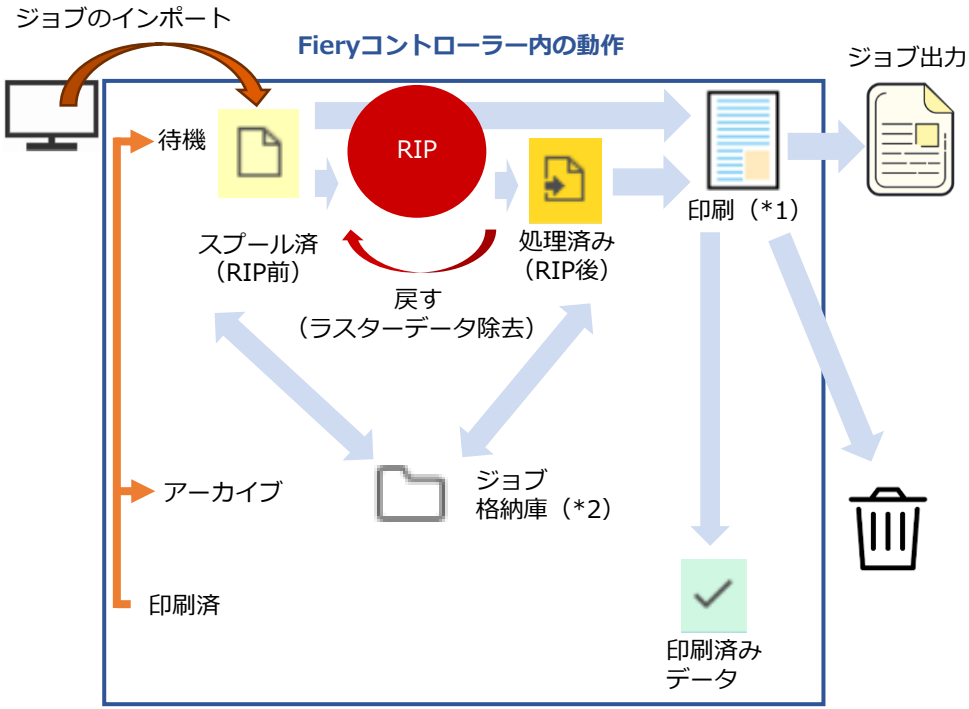
3 Fiery Command WorkStation

3-2. RIP前、RIP後のジョブの流れ

RIP（Raster Image Processor）とは文字や画像データをラスター・イメージ（ビットマップ）に変換する処理のことです。

以下にCWSにジョブをインポートした際の流れを説明します。

インポートしたジョブは、待機リストにスプール済（RIP前）ジョブとして保存されます。その後、処理済み（RIP後）、印刷済みデータなどのジョブとして処理されます。



*1 印刷後に待機リストにジョブを残すことも可能です。

*2 ジョブの設定も併せて保存されます。これにより、ジョブを再度インポートして設定しなくても、すぐにジョブを再印刷できます。

参考

サイズが大きいほどRIP処理に時間を要します。また、カラー等の設定を変更すると再度RIPが必要になります。そのため、最終的な設定が決まってからRIPすることをおすすめします。

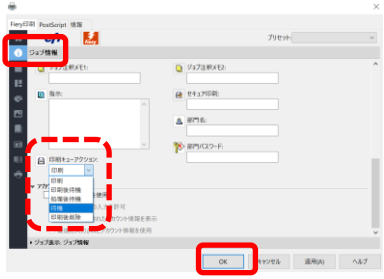
03B-070 RIP前、RIP後のジョブを操作しよう

3 Fiery Command WorkStation

3-3. CWSで印刷ジョブを操作する

プリンタードライバーで待機保存したジョブをCWSで編集する手順をご紹介します。

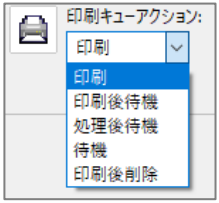
1. プリンタードライバーの設定



1. ［ジョブ情報］をクリックして、印刷キューアクションから実施する項目を選択します。
2. 他の必要な設定が完了したら［OK］をクリックし、印刷を確定します。

2. Fieryコントローラーの動作について

印刷キューアクションを実施した時のFieryコントローラーの動作です。各アクションについてはリンク先またはQRコードをご参照ください。

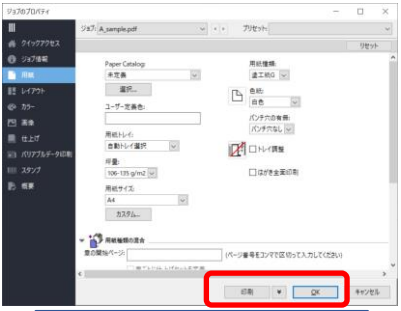


03B-080 印刷キューアクション

3 Fiery Command WorkStation

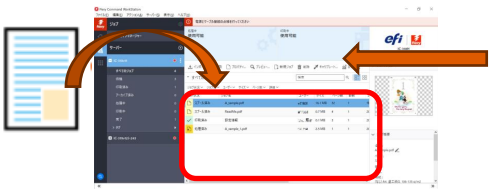
3. Fiery Command WorkStationの操作





1. CWSを起動します。
2. 1.で設定したジョブがジョブリストに表示されるので該当ジョブを選択し、［プロパティー］をクリックします。
3. ジョブのプロパティー画面が起動します。プリンタードライバーと同様の操作で編集が可能です。
4. ［OK］をクリックすると編集した設定が保存され、［印刷］をクリックするとジョブが出力されます。

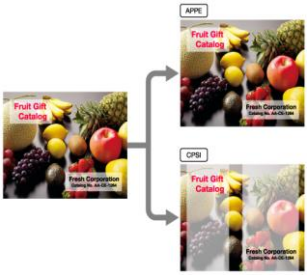
こんなこともできます



PC上のファイルをジョブリストにドラッグ&ドロップすると、**待機ジョブ**として表示されます。

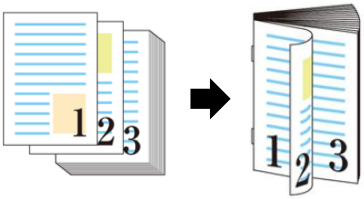
3-4. 印刷設定を使ってプリントしてみよう

03B-090 Command WorkStationからAPPEを印刷する



APPEについて詳しくは、付録をご覧ください。

03B-100 Command WorkStationから小冊子（中とじ）を印刷してみよう

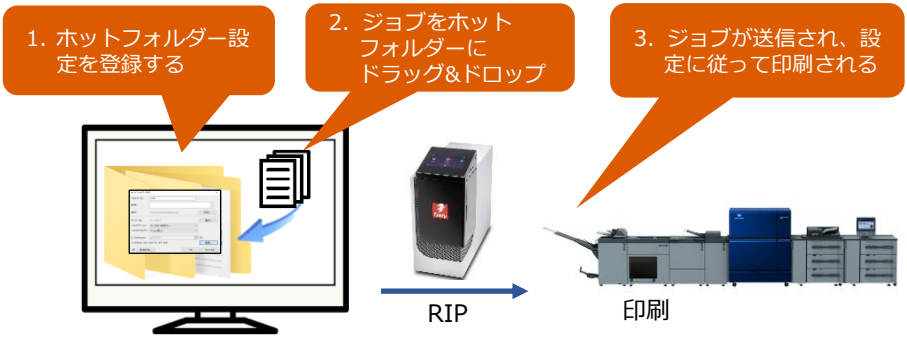


4 Fiery Hot Folders

4-1. Fiery Hot Foldersの概要

よく使う設定を事前にFiery Hot Foldersに登録しておくと、ファイルのドラッグ&ドロップだけでかんたんに印刷できます。
対応ファイル形式：EPS, JPEG, PDF, PS, TIFF, VDP, MS Office

<印刷フロー>



4-2. Fiery Hot Foldersの起動

➢ **CWSから起動する（Windows/Mac共通）**
［アプリおよびリソース］タブ（▦）に移動し、［Fiery Hot Folders］をクリックして起動。

＊ Fiery Hot FoldersはCWSのインストール時に自動でインストールされます。インストールの詳細は3章をご覧ください。

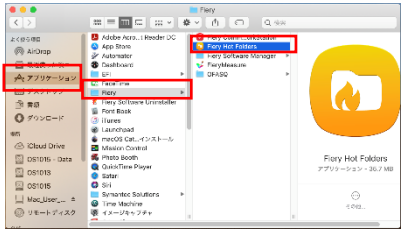


➢ **スタートメニューから起動する（Windows）**
［Windows］＞［Fiery］＞［Fiery Hot Folders］をクリックし、起動。



➢ **Macintosh HDアイコンから起動する（Mac）**
［アプリケーション］＞［Fiery］＞［Fiery Hot Folders］をクリックし、起動。

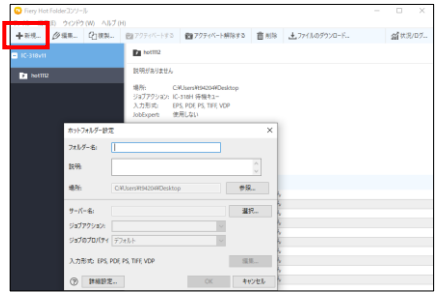
＊ Macintosh HDアイコンが表示されない場合は、Finderの「環境設定」で［ハードディスク］にチェックが入っているか確認してください。



4 Fiery Hot Folders

4-3. Fiery Hot Foldersの新規作成

［+新規］ボタンをクリックすると、
［ホットフォルダー設定］画面 が表示されます。



4-4. Fiery Hot Foldersの印刷フロー

Fiery Hot Folderの設定から印刷までの流れを動画で説明します。

03B-110 小冊子を印刷してみよう
(Fiery Hot Folders)

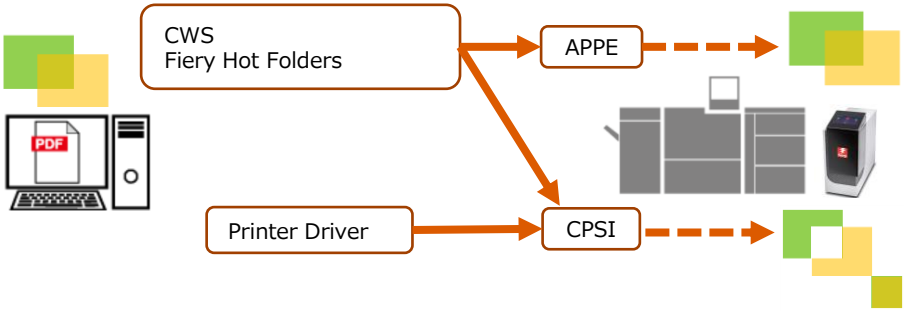
5 付録

＊APPEって何？

本機のコントローラーは、APPE（Adobe PDF Print Engine）を搭載しています。
PDF のデータイメージをそのまま再現する印刷に適しており、特に、透明効果の再現性に優れています。
本機では、CWS / Fiery Hot Folders で印刷する場合に、APPE を選択して印刷できます。

参考

プリンタードライバーで印刷する場合は、CPSI（Configurable PostScript Interpreter）でRIP されるため、透明効果を再現できません。透明効果を再現したい場合には、 CWSまたは Fiery Hot FoldersでAPPE を選択して印刷してください。



✓ APPE印刷はPDF/X-4（PDF 1.6）に対応しています。

© 2025 KONICA MINOLTA, INC.